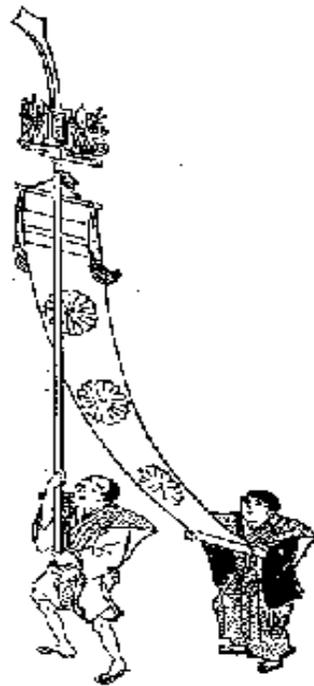


京都の伝統文化

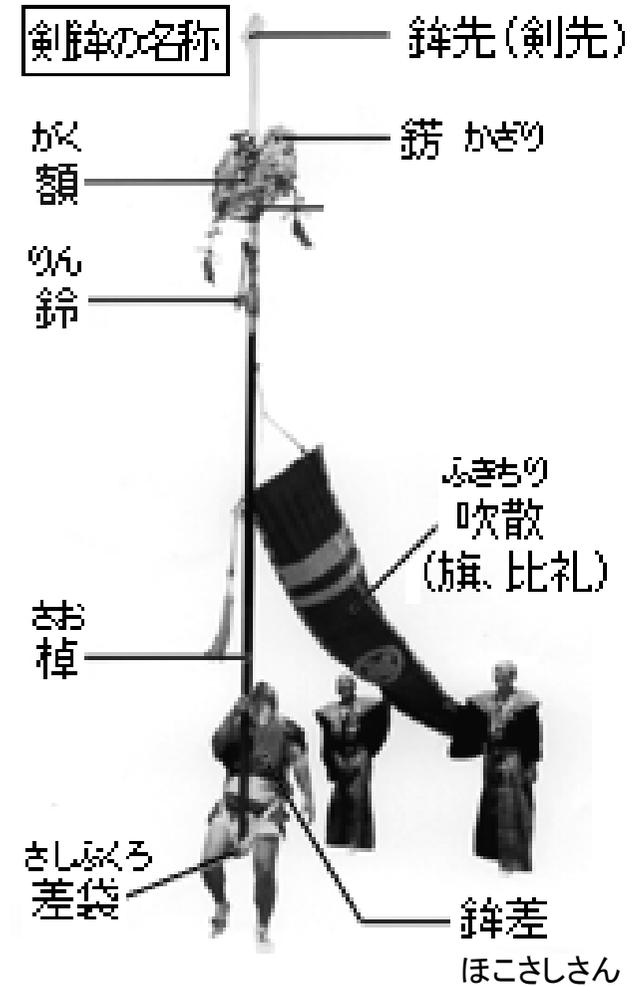
# 「こども鉾差し教室」

(剣鉾の差し方と今宮祭のお話編)



実施 こども鉾差し世話人会  
支援 文化庁・伝統文化活性化国民協会  
今宮鉾研究会

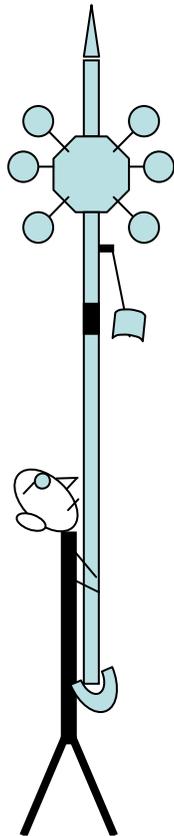
## 各部分の名称



# 剣鉾の差し方

## 1. まず、鉾を差す姿勢と歩き方から練習しよう！

- 1.1 練習鉾を使って、鉾を指導員さんやお友達に手伝ってもらって、差袋にのせます。
- 1.2 鉾はまっすぐに立てて、自分の胸にしっかり引き寄せて、きき腕を上にして、差してください。
- 1.3 鈴は鉾の真上にきます。(下図の位置)  
鉾をふる足づかい(指導員さんが教えます)で歩きます。



### 鈴の鳴り方

足づかいを正しくおぼえると、  
鈴は、  
まず当たり金具の横に当り

「ケチリーン」と鳴り、

次に自分の正面または裏面で

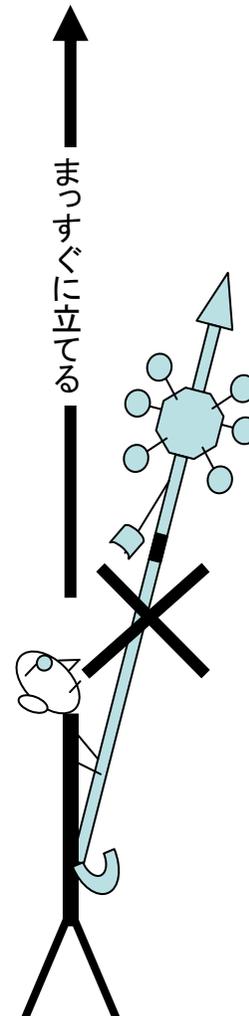
「コン」鳴ります。

これを続けて

「ケチリーン コン  
ケチリーン コン  
ケチリーン コン…」  
と鳴らします。

3

- 1.4 前後左右に傾いていると鈴がうまくなりません。
- 1.5 差袋はウエストの位置で、腰骨にしっかり留めましょう。
- 1.6 腰から下ろす場合もお友達か、指導員さんに手伝ってもらって、差袋から下ろしましょう。



- 1.7 この動作をしっかり身につけてから、本鉾を差す練習をしましょう。

## 2. 次のことをまもりましょう

- ・ すあしは鉾が落ちたときに危険です、運動靴を履きましょう。
- ・ 鉾をたおすと、飾り金具や額がすぐに痛みます、ていねいに立てたり、寝かしたりをしましょう。
- ・ 剣先はとがっています、怪我をしないように特に気をつけましょう。
- ・ 鉾の鈴は鋳物でできていますが、コンクリートに当てたりしますと割れますから注意しましょう。

4

## 教室のはじめと終わり

<教室が始まる時には>

- ・ 準備として、差し皮を腰につけて集まります。  
「こども鉾差し教室」が始まる時には全員で、  
指導員さんも含めて、  
当番さんが  
「これから鉾指し教室を始めます、  
よろしくお願ひします」  
と挨拶をして、つぎに全員で、  
「よろしくお願ひします」  
と円陣になって、挨拶をして始めます。

### 指導員さんの注意事項

練習中は必ず横について、鉾が倒れると危険です、  
倒れないよう注意をして、指導してください。

<練習が終わったら>

- ・ 当番さんが「今日はこれで終わります」と全員に  
声をかけます。  
そして全員が、差袋をはずして、円陣を組んで  
当番さんが、  
「これで練習を終わります、ごくろうさまでした」  
と声をかけ、次に全員で、  
「ごくろうさまでした」  
と声を掛け合って教室はおわります。

後片付けは全員でしましょう

## 剣鉾の歴史

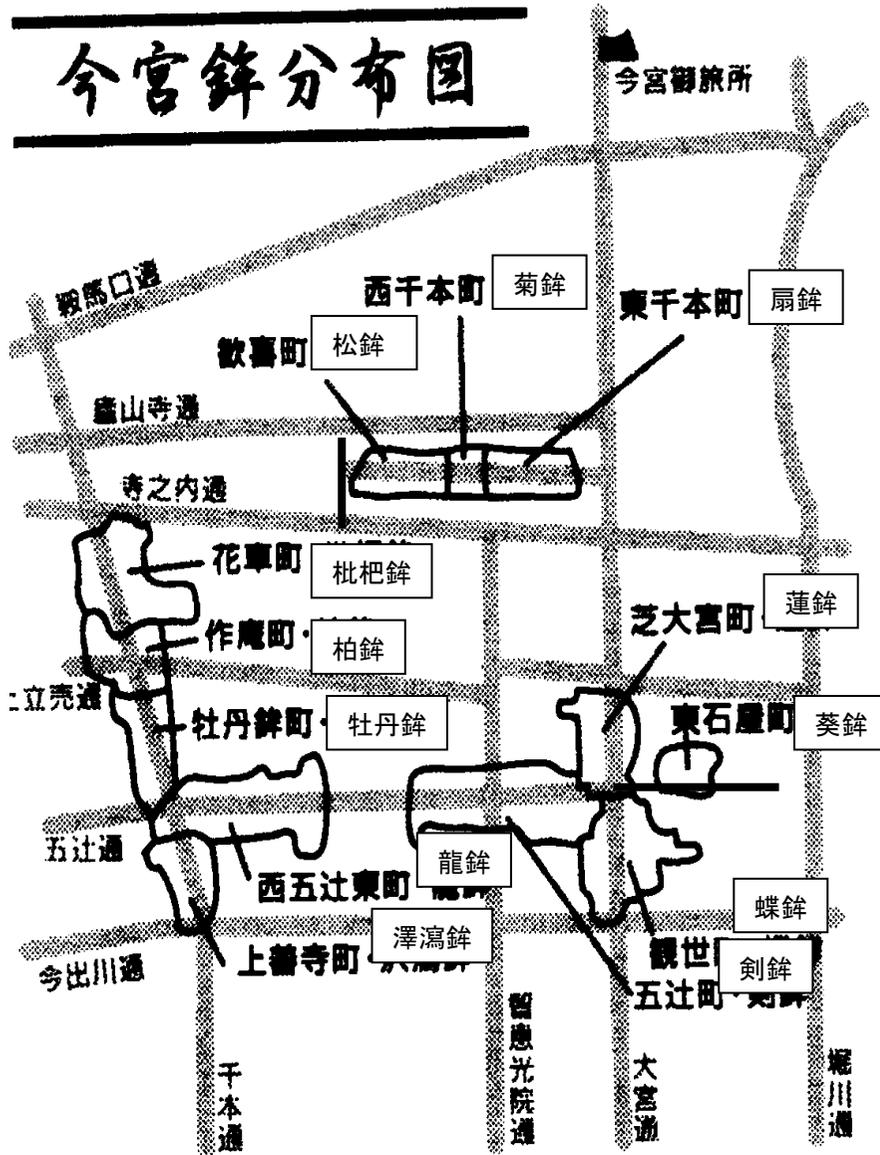
### 京都の剣鉾の歴史は

鉾町の歴史は、史実は特定できませんが、京鉾の史実  
で确实なところでは、平安時代の御霊信仰に始まり、  
貞観十一年(869)の祇園後霊会の創始の際には神泉  
苑に66本の鉾が建てられたとされています。

### 今宮剣鉾の歴史は

また、今宮鉾は正暦五年(994)6月29日には疫神を  
船岡山に祀り紫野御霊会が修められています。今日、  
今宮神社の創祀1010年祭が、平成16年にあたりま  
すが、鉾の歴史は少なくとも1千年余、以前の昔から、  
鉾町だけでなく、地元の民衆が一体となって、神社と  
共に保存してきた由緒の深い、歴史的に大変重みのあ  
る伝統的な民俗化財です。

今宮鉾町の分布図



今宮神社の氏子圏には  
12本の剣鉾があります。

その形には次の3つ種類があります。

1. 差し鉾 (昔、最初に作られた鉾はすべてこの形です)



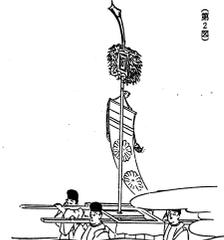
- |     |        |
|-----|--------|
| 剣鉾  | (けん)   |
| 葵鉾  | (あおい)  |
| 沢瀉鉾 | (おもだか) |
| 牡丹鉾 | (ぼたん)  |
| 柏鉾  | (かしわ)  |
| 松鉾  | (まつ)   |
| 菊鉾  | (きく)   |

2. 山鉾



- |     |       |
|-----|-------|
| 扇鉾  | (おおぎ) |
| 龍鉾  | (りゅう) |
| 枇杷鉾 | (びわ)  |

3. 担い鉾



- |    |       |
|----|-------|
| 蝶鉾 | (ちょう) |
| 蓮鉾 | (はす)  |

## 今宮祭の巡行図

現在、今宮祭は五月五日が**神幸祭(じんこうさい)**コースと、約二週後の日曜日に**還幸祭(かんこうさい)**コースで巡行される。

神幸祭のコース図



還幸祭のコース図



## 今宮鉾の祭礼のかたち

鉾のまつりかたには

ひとつは行列に出します。その鉾のことを、本鉾(ほんぼこ)と呼び各町内に1本あります。

そして町内に飾っておく鉾を留守(るす)鉾(ぼこ)と呼び、祭礼の期間中町内に飾っておく鉾です。

また、祭りの期間中、町内の町家または個人宅に、今宮大神の掛軸や他の神様のお軸を飾り、祭壇をまつることを、当屋飾り(とうやかざり)といいます。



京都の伝統文化であり

地域の民俗文化財である刺鉾を

わたしたちで次の世代に

引き継いでゆきましょう。